



昭和三〇年頃の
PROGRAM 2: 佐渡島外海府

昭和三〇年代
佐渡島生活記録映画上映会



PROGRAM 1: タライ舟とノリ(宮本常二監修)
佐渡島宿根本付近の正月を迎えるノリ漁とタライ舟の記録

皆様、お気軽に参加ください。映画の後には、新しき年を寿ぎながら吉祥寺超有名居酒屋「いせや」で新年懇親会開催予定です。ご参加をお待ちしております。

■この映画から佐渡島民の喜怒哀楽が見え隠れする。乞う、ご期待!!

■この民俗博物館こそ、民俗学者宮本常一と地光妙光寺の林住職を始めとする多くの島民、そして少壮の民俗学者たちが協働でつく上げたものだ。多くの展示資料がまだ現役で島民の生活の中で輝いていた昭和三〇年代初頭の宿根本と外海府の記録映画が残っていた。それまでの生活はあ部分江戸時代と大して変わらない。

■これまで、歴史と言えば統治者勝者の歴史ばかりを見せられてきた。だが、この博物館は、支配者勝利者の臭いがない。ただ、宮々と暮らす草民のカビの生えた臭いがあるだけだ。この視点がこれまでの歴史にはなかった、それを具体的に物で見せつけられて本来に目からウロコが落ちた。

■もう四〇年も前になろうか、佐渡島の宿根本を訪れた。彼の地の「民俗博物館」で頭を思いっきりこん棒でドツかれた錯覚を覚えた。「なんだ、これは!」

■目の前には昨日まで使っていた温もりがのこるテレビ、トースター、扇風機、台所用用品が雑然と資料として展示してある。いや、展示でなくまるで物置にほったらかしにしてあると言った方が的確だ。別の部屋には、仏壇が所狭しと積まれている。その間に小学校の卒業証書、消防団の感謝状、ちゃぶ台、薄汚れた箸と茶碗、食器類生活のありとあらゆる物が集められている。観おわったら、佐渡に暮らす人々の暮らしが薄ぼんやりと形になっていた。

会費

講演: 持てる者は持てるだけ(カンパ制) / 懇親会: 2500 円前後

場所

武蔵野市本町コミュニティセンター第2会議室(3F)
東京都武蔵野市吉祥寺本町1-22-2 / 吉祥寺北口(JR中央線・井の頭線) 徒歩3分 ※今回は梅ヶ丘ではありません。

参加連絡

050-7542-2018(稲垣一雄) / 080-5085-2477(橋爪太作)
info@tokarajuku.sakura.ne.jp
※懇親会のみ参加の方は上記アドレスにご連絡ください。

主催

文化結社トカラ塾(<http://www.tokarajuku.sakura.ne.jp/>)

